

裁判官会議（第三七回）議事録

昭和四十五年十二月二十三日（水曜日）

裁判官会議室において、午前十一時開議

出席員 石田長官、入江、長部、田中、岩田、下村、色川、大隅、

松本、飯村、村上、関根、藤林、関原、小川各裁判官

石田長官議長席につく。

議事

一 昭和四十六年度における司法行政事務に関する長官代理順序
（案）について

千葉秘書課長より、別紙に基づき、標記につき説明あり、原案どおり可決する。

二 昭和四十六年一月・二月中の常置委員について

千葉秘書課長より、昭和四十六年一月・二月中の常置委員として左記裁判官にお願いしたき旨をはかり、これを諒承する。

第一小法廷 藤林裁判官

第二小法廷 村上裁判官

第三小法廷 下村裁判官

三 昭和四十六年度における最高裁判所各小法廷の裁判官の配置、代理順序および裁判事務の分配等（案）について

長井総務局長より、別紙に基づき、標記につき説明および小川裁判官の配置につき慣例どおり第二小法廷とすることをお諮りしたところ、石田長官より、明年一月九日退官の入江裁判官の後任発令をまつて改めて審議したい旨提案あり、意見交換のうえ、小川裁判官の配置について審議することを留保のうえ、原案どおり可決する。

四 昭和四十六年度における最高裁判所各法廷の裁判所書記官の配置（案）について

長井総務局長より、別紙に基づき、標記につき説明あり、原

案どおり可決する。

五 司法修習生に関する規則の一部を改正する規則案について

矢崎人事局長より、別紙に基づき、右規則案を説明あり、原案どおり可決する。

六 人事について

矢崎人事局長より、別紙に基づき、裁判官の転補、部の事務総括者の指名等および退官等につき説明あり、これを可決、諒承する。

七 最高裁判所事務総局民事局長兼行政局長の後任について

矢崎人事局長より、別紙に基づき、標記後任人選案につき説明あり、意見交換のうえ、最高裁判所事務総局民事局長兼行政局長として、
を決定し、

八 岡山地方裁判所長の後任等について

矢崎人事局長より、別紙に基づき、標記後任人選案につき説明あり、意見交換のうえ、岡山地方裁判所長として裁判所書記官研修所長田原義衛氏を決定し、その後任として最高裁判所事務総局刑事局長佐藤千速氏を決定し、

九 最高裁判所事務総局刑事局長の後任について

矢崎人事局長より、別紙に基づき、標記後任人選案につき説明あり、意見交換のうえ、最高裁判所事務総局刑事局長として

を決定し、

午後零時三十分散会

議長

秘書課長

(昭四五・一二・一二秘書印)

昭和四十六年度における司法行政事務に関する長官代理順序(案)

昭和四十六年度において、最高裁判所長官に差しつかえあるときは、司法行政事務については、席次の順序にしたがつて、これを代理する。

(参考)

最高裁判所長官の代理に関する規程

(昭和二十二年十月八日
最高裁判所規程第三号)

最高裁判所長官に差支あるとき、司法行政事務について、これを代理する者の順序は、毎年十二月裁判官会議の議によりこれを定める。

前項の規定による代理順序を変更する必要があるときは、裁判官会議の議によりこれを定める。

昭和四十六年度における最高裁判所各小法廷の裁判官の配置、
(附四五、二二、一二三、印)

代理順序および裁判事務の分配等について(案)

昭和四十六年度における最高裁判所の各小法廷の裁判官の配置、
裁判官にさしかえがあるときの代理順序、各小法廷に対する裁判
事務の分配および各法廷の開廷日割を、次のとおり定める。

第一 裁判官の配置

第一小法廷

裁判官	入	江	俊	郎
裁判官	長	部	謹	吾
裁判官	岩	田	誠	
裁判官	大	隅	健	一郎
裁判官	藤	林	益	三
第二小法廷				
裁判官	石	田	和	外

裁判官	色川幸太郎
裁判官	村上朝一
裁判官	岡原昌男
裁判官	小川信雄

第三小法廷

裁判官	田中二郎
裁判官	松下三郎
裁判官	松本正雄
裁判官	飯村義美
裁判官	関根小郷

第二 裁判官の代理順序

一 第一小法廷の裁判官にさしかえがあるときは、第二小法廷の裁判官（ただし、最高裁判所長官を除く。）または第三小法廷の裁判官が、第二小法廷の裁判官にさしかえがあるときは、

第三小法廷の裁判官または第一小法廷の裁判官が、第三小法廷の裁判官にさしかえがあるときは、第一小法廷の裁判官または第二小法廷の裁判官（ただし、最高裁判所長官を除く。）が、順次これを代理する。

二 大法廷において最高裁判所長官にさしかえがあるときは、他の裁判官が、席次の順序に従つてこれを代理する。

第三 裁判事務の分配

一 事件は、種類ごとに、左の比率によつて順次各小法廷に分配する。

第一小法廷	四
第二小法廷	三
第三小法廷	五

二 再審事件は、原裁判をした法廷に分配する。

三 小法廷で差し戻した事件または小法廷で高等裁判所の差し戻

し判決を是認した事件の判決に対する上告事件は、その法廷以外の小法廷に分配する。

四 一の小法廷に分配した事件が他の小法廷の取扱事件と関連するためあわせて審理裁判することが便宜であるときは、関係小法廷の裁判官の協議により、一の小法廷においてあわせて審理裁判することができる。

五 各小法廷の未済事件は、当該法廷で引き続き取り扱う。

第四 開廷の日程

大法廷	水曜日
第一小法廷	木曜日
第二小法廷	金曜日
第三小法廷	火曜日

(昭四五、一二、五訟印)

昭和四十六年度における最高裁判所各法廷の
裁判所書記官の配置について(案)

昭和四十六年度における最高裁判所各法廷の裁判所書記官の配置を、次のとおり定める。

大法廷	兼子市寿 坂井健司
大法廷	辻一雄 渡辺洋
大法廷	山口軍司 山本儀一郎
大法廷	友部敏道 柏木利三
大法廷	沼上松雄

第一小法廷	第二小法廷	第三小法廷
高橋 初太郎 松 下 好 塚 本 金 司 竹 岡 毅 市 丸 秋 美 杉 本 恒 明	井 伊 直 邦 藍 久 夫 青 木 高 弥 内 藤 隆 檀 上 清 高 大久保 昭 佐 古 敬 助	森 馨 古 沢 和 平 遠 藤 工 藤 本 純 治 入 野 貢 一 宮 沢 邦 夫 藤 卷 純 雄

司法修習生に関する規則の一部を改正する規則（案）

司法修習生に関する規則（昭和二十三年最高裁判所規則第十五号）の一部を次のように改正する。

第十四条に次の二項を加える。

最高裁判所は、特に必要があると認めるときは、審査委員を委嘱することができる。

審査委員は、考試の実施に関し、委員長が特に命じた事務を行なう。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

理 由

司法修習生の考試に關する事務の能率的な処理を圖るため、最高裁判所が審査委員を委嘱することができるとする必要がある。これが、この規則を制定する理由である。

司法修習生に関する規則新旧対照表

現 行 規 則	改 正 規 則 案
<p>第十四条 委員会は、裁判、檢察及び弁護 士事務の実務その他必要な事項について 考試を行う。</p>	<p>第十四条 委員会は、裁判、檢察及び弁護 士事務の実務その他必要な事項について 考試を行う。</p> <p>最高裁判所は、特に必要があると認め るときは、審査委員を委嘱することがで きる。</p> <p>審査委員は、考試の実施に関し、委員 長が特に命じた事務を行なう。</p>

司法修習生考試委員會委員名簿
(昭四三一二九現在)
(順序不同)

委員長	最高裁判所長官	石田和	外
委員	最高裁判所判事	大隅健一郎	
"	"	村上朝一	
"	"	関根小郷	
"	日本芸術院長	高橋誠一郎	
"	法政大学名誉教授	谷川徹三	
"	東京大学名誉教授	金子武蔵	
"	共立女子大学教授	河盛好蔵	
"	文化財保護審議会长代理	石田茂作	
"	東京国立博物館長	稲田清助	
"	東京弁護士会弁護士	千葉宗八	
"	第一東京弁護士会弁護士	小野清一郎	
"	第二東京弁護士会弁護士	今井忠男	

委員	最高檢察庁次長檢事	山本清二郎
"	最高檢察庁刑事部長	長富久
"	法務省刑事局長	辻辰三郎
"	法務總合研究所長	本田正義
"	最高裁判所事務總長	吉田正豐
"	東京高等裁判所判事	桑原憲
"	"	江崎太郎
"	司法研修所長	守田太直
"	司法研修所教官	安倍三三
"	"	吉沢三郎
"	"	古川健次
"	"	池田清治
"	法務大臣官房人事課長	横田武昭
"	最高裁判所事務總局人事局長	藤島憲正
(幹事)	矢崎憲正	

昭和四十五年度司法修習生考試臨時委員名簿

内訳

筆記考試関係

十五名

口述考試関係

民事系統試問 (A 班) 二十一名
刑事系統試問 (B 班) 三十五名
一般教養試問 (O 班) 二十四名

合計 九十五名

臨時委員 (O 班)

東京弁護士会弁護士

松永芳市

〃

〃

〃

〃

第一東京弁護士会弁護士

菅野勘助

〃

第二東京弁護士会弁護士

横地秋二

〃

〃

法務大臣官房司法法制調査部長

後藤信夫

法務大臣官房訟務部長

菅野達也

法務省矯正局長

坂本吉勝

法務省人権擁護局長

梶谷丈夫

最高検察庁総務部長

堂野達也

高木右門

影山勇

香川保一

勝尾録三

川島一郎

長富

臨時委員 (G班)

最高檢察庁公判部長
最高檢察庁検事

東京高等檢察庁次席検事

東京高等裁判所長官

東京地方裁判所長

東京家庭裁判所長

裁判所書記官研修所長

最高裁判所事務総局刑事局長

最高裁判所事務総局家庭局長

東京高等裁判所判事

臨時委員 (A・B班)

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

東京地方裁判所判事

長戸寛美

本田正義

神谷尚男

奥野利一

長谷部茂吉

宇田川潤四郎

田原義衛

佐藤千速

外山四郎

中西彦二郎

瀬戸正二

脇田忠

江里口清雄

大塚正夫

安岡満彦

熊谷弘

戸田弘

浦辺衛

大村雄

植村英満

西尾善吉郎

小村保秀

築信夫

木村治

戸田宗孝

山本耕幹

島山国重

寺坂吉郎

宮本正美

是達見

東京第一弁護士会弁護士
東京第二弁護士会弁護士

司法研修所教官（判事）

司法研修所教官（検事）

司法研修所教官（弁護士）

村	山	岡	吉	安	上	藤	飯	海	安	坂	小	野	岸	宮
上	本	村	沢	国	谷	井	原	老 塚	倍	上	松	口		沢
幸 太 郎		治	潤	種		正	一	和	正	寿	不 二	恵	星	邦
	卓	信	三	彦	清	雄	乗	衛	三	夫	雄	三	一	夫

鈴 小 釘 島 佐 池 石 藤 川 岡 村 武 伊 小 金
木 林 沢 谷 藤 田 井 岡 口 村 上 並 原 瀬
秀 宏 一 六 哲 清 嘉 清 泰 格 公 祐 保 隆
雄 也 郎 郎 郎 治 夫 晋 高 孝 一 良 郎 郎 史

臨時委員（A・B班）

司法研修所教官（弁護士）

臨時委員
(筆記)

司法研修所教官（判事）

大山忠市

島田徳郎

井上義男

郭江恩

日興久三郎

富商書

上 上 上
月 月 月
年 年 年
行 行 行

笑 主
頁 目
序 言
卷 一

仰 頤 登 父

周
田
七

斤
崇
養

木
村
專
典

井上勝正

三ツ木正次

三ツ木正次

松浦登志

堀田 勝二

長
烟
補

横
田

相
ア

以上九十五名

裁判官會議付議人事關係事項（昭四五、一二、二三提出）

一 裁判官の兼官転補について

兼簡判 （横浜地家横須賀支判 事兼同簡判）	判事（東京地判事）	瀬下貞吉
" （横浜地家川崎支判事 兼同簡判）	"	藤原高志
" （浦和家地川越支判事 兼同簡判）	"	勝俣利夫
東京高判事	東京地判事	平野太郎
大森簡判兼東京簡判	東京簡判	荒木登
東京簡判	大森簡判兼東京簡判	梅本芳太郎
新宿簡判	立川簡判	清水久二時
立川簡判	新宿簡判	山崎貢
前橋簡判	伊勢崎簡判	喜多昭二
福井簡判	大野簡判	向川隆信
大野簡判	福井簡判	南条教勇

二 昭和四十六年度の下級裁判所における部の事務総括者の指名について

別紙部の事務を総括する裁判官名簿のとおり

三 裁判官の職務代行について

免東京地判事の職務代行	旭川地判事
命	青森地八戸支判事
"	薦田茂正
"	山本矩夫

四 司法行政事務命令について

免最高裁人事局付	東京地判事補
"	岡田良雄

五 裁判官の昇給について

昭和四十六年一月の昇給については別紙裁判官昇給候補者名簿のとおり

六 裁判官の退官について

定年退官 (昭四六 一九)	最高裁判事	入江俊郎
" (昭四五 一二四)	判事 (岡山地判事)	高橋嘉平
" (昭四六 一五)	" (東京家地判事)	秋場凱治
" (昭四六 一一四)	簡判 (越谷簡判)	永江達郎
" (昭四六 一一九)	" (東京簡判)	井崎富之助
依願免本官	" (佐賀簡判)	野田三夫

七 裁判所調査官の任命等について

解併任名古屋地裁判所調査官	東京地裁判所調査官	斉藤和民
" 福岡地裁判所調査官	"	斉藤和民
出向 国税庁	"	斉藤和民
命東京地裁判所調査官	大蔵事務官 (札幌国税局間税部長)	黒岩芳昭

八 各種委員会委員の解任等について

別紙各種委員会委員等名簿のとおり

九 死亡叙勲について

勲二等瑞宝章

元岡山家所長

勲三等旭日中綬章

元東京家判事

三 野 盛 一
恒 田 文 次

一〇 昭和四十六年度司法修習生採用内定等について（追加）

（一）採用内定について 受験番号

（二）採用内定の可否について "

昭和四十六年度

部の事務を総括する裁判官名簿

東京高等裁判所

第 十三	第 十二	第 十一	第 十	第 九	第 八	第 七	第 六	第 五	第 四	第 三	第 二	第 一
民事部												

部の名称

判 事												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

官職

近 淺 岡 仁 近 服 桑 中 中 柳 岡 平 服

氏

藤 沼 部 分 藤 部 原 西 西 川 部 賀 部

完 行 百 完 高 正 彦 彦 真 行 健 高

名

高 顯 太 男 夫 郎 郎 憲 顯 爾 人 男 武 符

東京地方裁判所

民事第
一 二 三 四 五 六 七 八
部 部 部 部 部 部 部 部

判
事

安井岡綿高渡安
岡口宮田引津部藤

滿源重辰末吉

彦郎男雄男環隆覺

第十二
第一特別部
第二
第三
第四
第五

判
事
官
官
官

高岸岸岸岡江
橋部口

幹盛盛盛行清

男一(一)(一)男雄

第十四民事部
第十五
第十六
第十七
第一刑事部
第二
第三
第四
第五
第六
第七
第八
第九
第十
第十一

判
事

江關江八栗荒飯井中樋堀仁久近西
崎谷崎島本川田波野口分利藤川

太六太三一正一七次義百完美
郎郎郎郎夫郎郎郎雄勝次人響爾教

東京地方裁判所八王子支部

刑事第一部
刑事第二部
民事第一部

第十九部
第二十部
第二十一部
第二十二部
第二十三部
第二十四部
第二十五部
第二十六部
第二十七部
第二十八部

判事
支判部長事
判事

加藤一芳
中田早苗
(森文治)

樋口和博
海老原震一
船田三雄
守谷雅夫
新関雅夫
戸田良弘
草場良八
岡垣圭次
牧村圭次
西村法

刑事第四部
第五部
第六部
第七部
第八部
第九部
第十部
第十一部
第十二部
第十三部
第十四部
第十五部
第十六部
第十七部
第十八部

判事

木梨一夫
堀江貞造
斎川春三
清水正富
小松正
岡垣正
向井哲郎
平野太次郎
熊谷弘郎
西村法道
大前邦二
小野慶二
相沢正重
内藤丈雄
船田三雄

東京家庭裁判所
刑事第二部
判事
田上輝彦

家事一部
二部
三部
四部
少年一部
二部
三部
四部
横濱地方裁判所
民事一部
二部
三部
四部
判事
室伏壯一郎
野本三千雄
中田秀慧
森口静一
山崎茂夫
田中寿夫
三淵嘉子
市村光一
柏木賢吉
燕山嚴
若尾元
立岡安正

刑事一部
二部
三部
四部
五部
六部
判事
所判事
長事
小川善吉
石崎四郎
野瀬高生
赤木平
大平要
判事
所判事
長事
堀部勇二
須賀健次郎
三淵乾太郎
宮脇辰雄
赤木平
大平要
判事
所判事
長事
小川善吉
石崎四郎
野瀬高生
赤木平
大平要
判事
所判事
長事
小川善吉
石崎四郎
野瀬高生
赤木平
大平要

浦和地方裁判所
民事一部
二部
刑事一部
二部
千葉地方裁判所
民事部
判事
渡辺桂二

水戸地方裁判所
刑事一部
" 二部

判事
(所判長事)
太中
(脇田忠)

民事第一部
" 第二部
刑事合議部

判事
(所判長事)
上野
(石崎政宏)

宇都宮地方裁判所

民事部
刑事部
民事合同部

判事
" 判事
(所判長事)
須藤
(柏井康實)

前橋地方裁判所

民事第一部
" 第二部

判事
(所判長事)
(岩野)
植村秀三
(徹)

静岡地方裁判所
刑事部
民事第一部
" 第二部
刑事第一部
" 第二部

判事
(所判長事)
水上
(斎藤)
上東作
(斎藤壽郎)

静岡地方裁判所沼津支部

民事部
刑事部

判事
(支判部長事)
福岡
(山本)
佐昭郎

静岡地方裁判所浜松支部

民事部
刑事部

判事
(支判部長事)
永淵
(岡本)
芳夫郎

甲府地方裁判所

民事第一部

判事

内

正久

民事第二部

判事

(鈴)

重光

刑事部

判事

田

加藤男

長野地方裁判所

民事

判事

細

淳三

刑事

(判所) 長事

(青)

義人

新潟地方裁判所

第一民事部

判事

宮

啓一

第二

(判所) 長事

(浜)

清六郎

刑事部

判事

藤

豊

大阪高等裁判所

部の名称

官職

氏

名

第一民事部

判事

金

宇佐夫

第二

判事

石

甚八

第三

判事

三

上

第四

(長官)

(新)

勝芳

第五

判事

宮

種一郎

第六

判事

亀

左取

第七

判事

入

菊之助

第八

判事

沢

種之助

第九

判事

岡

幸之助

第十

判事

加

幸之助

第十一

(長官)

(新)

勝芳

第十二

(長官)

(新)

勝芳

第一刑事部

(長官)

(新)

勝芳

大阪地方裁判所

特別部	第三	第四	第五	第六	特別部
刑事部	〃	〃	〃	〃	〃
判事	〃	〃	〃	〃	〃
(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)
三木	河村	岡田	岡田	新関	新関
良雄	澄夫	勇雄	退一	勝芳	勝芳

第一民事部	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第十
判事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
大井	増田	中島	斉藤	林野	日出	下野	下野
千三郎	幸次郎	孝信	平伍	達繁	義藏	明藏	明藏

第十一	第十四	第十五	第二十一	第二十二	第二十三	第四十	第四十一	第四十二	第五十一	第五十二	第五十三	第五十四	第五十五
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
判事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)	(長官)
谷野	岡部	本井	大江	小湊	徹守	戸田	木下	木下	富田	野田	日高	白井	北浦
英俊	重信	健次郎	亥一	正勝	忠良	忠良	忠良	忠良	善哉	榮一	敏夫	美則	憲二

第五十六民事部	判事	中島	住恒
第五十七	"	戸根	夫
第五十八	"	石川	恭
第一刑事部	"	久米川	正和
第二	"	松浦	秀寿
第三	"	太西	一夫
第四	"	角本	敬
第五	"	山本	久己
第六	"	荒石	利雄
第七	"	石松	竹雄
第八	"	奥井	輝彦
第九	"	永井	登志
第十	"	児島	武雄
第十一	"	柳田	俊雄
第十五	"	原田	修

第四十 戸田勝

大阪地方裁判所堺支部

民事合議部 (判部長事) (竹内貞次)
刑事合議部 榮枝清一郎

大阪家庭裁判所

第一家事部 (判所長事) (細江秀雄)

第二 朝田孝
第一少年部 谷村経頼
第二 円井正夫

京都地方裁判所

民事一部 前田治一郎
" 二部 小西勝
" 三部 山田常雄
" 四部 東民夫

民事五部
刑事一部
" 二部
" 三部
" 四部

判事
(判) 所判
判事
" 判事
" 判事

林 義雄
(與) 戸 新三
吉 川 寛 吾
橋 本 盛三郎
森 山 淳哉

神戸地方裁判所

第一民事部
第二 "
第三 "
第四 "
第五 "
第六 "
第一刑事部

判事
" 判事
" 判事
" 判事
" 判事
(所判) 判事
(所判) 判事
(所判) 判事

原 田 久太郎
村 瀬 泰三
関 田 鷹夫
山 田 鷹夫
(西) 尾 貢一
(西) 尾 貢一
(西) 尾 貢一

第二 "
第三 "
第四 "
第五 "

判事
" 判事
" 判事

中 川 幹郎
山 下 鉄雄
八 木 直道
矢 島 好信

神戸地方裁判所尼崎支部

民事部
刑事部

判事
(判) 所判
支判部長事

山 田 義康
藤 原 啓一郎

神戸地方裁判所姫路支部

民事部
刑事部

判事
(判) 所判
支判部長事

西 内 辰樹
(喜) 多 勝

奈良地方裁判所

第一民事部
第二 "

(所判) 判事
(所判) 判事

(村) 上 喜夫
岡 村 旦

大津地方裁判所

刑事部

判事

坂

口

公

男

民事部

(判事長)

(杉

田

亮

造)

刑事部

判事

西

田

篤

行

和歌山地方裁判所

第一民事部

判事

入

江

教

夫

第二

(判事長)

(伊

藤

利

夫)

刑事部

判事

若

木

忠

義

名古屋高等裁判所

部の名称

官職

氏

名

民事第一部

(判事長)

(内

赤

藤

雄

民事第二部

判事

伊

藤

淳

吉

民事第三部

判事

奥

村

義

雄

民事第四部

判事

上

田

孝

造

刑事第一部

判事

野

村

忠

治

刑事第二部

判事

高

沢

新

七

特別部

(長官)

(内

藤

頼

博)

名古屋高等裁判所金沢支部

第一部(民事)

判事

中

島

誠

二

第二部(刑事)

(判事部長)

(沢

田

哲

夫)

名古屋地方裁判所

民事第一部	民事第二部	民事第三部	民事第四部	民事第五部	民事第六部	民事第七部	民事第八部	民事第九部	刑事第一部	刑事第二部	刑事第三部	刑事第四部
(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)
(吉田作穂)	(山田正武)	(西山力一)	(松本重美)	(山田正武)	(小沢三朗)	(夏目仲次)	(越川純吉)	(可川純吉)	(吉田作穂)	(藤本忠雄)	(堀本弘士)	(堀本弘士)

名古屋地方裁判所岡崎支部

第五部	第六部	民事部	刑事部
(判事長)	(判事長)	(判事長)	(判事長)
(山本正章)	(山本正章)	(平野恒尋)	(梅沢恒尋)

津地方裁判所

民事第一部	民事第二部	刑事部
(判事長)	(判事長)	(判事長)
(杉山忠雄)	(古関敏正)	(中原守)

岐阜地方裁判所

第一民事合議部	第二刑事合議部	第三民事合議部
(判事長)	(判事長)	(判事長)
(石川正夫)	(平谷新五)	(井上弘)

福井地方裁判所

民事一部

(所判 長事)

(成

田

茂

薫)

民事二部

判 事

山

内

茂

克

刑事部

小

河

岩

巖

金沢地方裁判所

第一部 (民・刑事)

(所判 長事)

(石

田

一

郎)

第二部 (民事)

判 事

至

勢

忠

一

第三部 (刑事)

判 事

小

沢

博

博

富山地方裁判所

民事部

判 事

岡

村

利

男

刑事部

(所判 長事)

(小

淵

連

連)

広島高等裁判所

部の名称

官 職

氏

名

第一部

判 事

高

橋

英

明

第二部

判 事

松

本

冬

樹

第三部

(長 官)

(足

立

文

進)

第四部

判 事

高

橋

文

恵

広島高等裁判所岡山支部

第一部

(支判 部長事)

(高

橋

正

男)

第二部

判 事

胡

田

正

勲

広島地方裁判所

民事第一部

判 事

辻

川

利

正

民事第二部

判 事

加

藤

義

宏

民事第三部

判 事

熊

佐

義

里

刑事第一部

判 事

竹

村

利

正

刑事第二部 判事 干場 義秋
" 第三部 (判所) 長事 (宮田) 信夫

広島地方裁判所具支部

第一部 判事 平井 哲雄
第二部 (判所) 長事 (西俣) 信比古

山口地方裁判所

第一部 判事 荻田 健治郎
第二部 (判所) 長事 (岩崎) 光次

第三部 判事 藤原 吉備彦
山口地方裁判所下関支部 (判所) 長事 (阿座上) 飛龍

山口地方裁判所下関支部

第一部 判事 藤原 吉備彦
第二部 (判所) 長事 (阿座上) 飛龍

岡山地方裁判所

第一民事部 判事 五十分 一立

第二" (判所) 長事

第三" 判事 黒川 四海

第一刑事部 判事 西尾 政義

第二" (判所) 長事

鳥取地方裁判所

民事部 判事 (山内) 敏彦

刑事部 判事 大下 倉保 四朗

松江地方裁判所

民事部 判事 (幸田) 輝治

刑事部 判事 西内 英二

福岡高等裁判所		福岡高等裁判所宮崎支部	
部の名称		官名	
第一民事部	(長官)	川井	立
第二 "	判事	龜	義
第三 "		丹	三
第四 "		高	哲
第一刑事部		藤	春
第二 "		木	莊
第三 "	(長官)	中	立
特別部		川	夫
民事部	判事	入	啓
刑事部	(支判部長)	淵	上
			啓七郎
			壽

名

福岡地方裁判所

第一民事部	第二	第三	第四	第五	第一刑事部	第二	第三	第四	第五	民刑混合部	福岡地方裁判所小倉支部	第一民事部
判事	"	"	"	"	判事	判事	判事	判事	判事	判事	判事	判事
桑原	木本	生田	三好	樫藤	(真野)	秋吉	塩田	白石	中谷	松田	森永	森永
宗朝	樫雄	諫二	徳郎	義臣	英一	重臣	駿一	破竹	敬吉	富士也	龍彦	龍彦

福岡地方裁判所久留米支部

- 第二
- 第三
- 第一刑事部
- 第二
- 第三

矢頭直哉	(安東)	小河基夫	砂山一郎	小河西基郎	判事	判事	判事
------	------	------	------	-------	----	----	----

福岡地方裁判所飯塚支部

- 民事部
- 刑事部

内田八朔	(判部長)	伊藤敦夫	判事
------	-------	------	----

- 民事部
- 刑事部

岡野重信	(判部長)	岡本茂	判事
------	-------	-----	----

佐賀地方裁判所

- 民事一部

吉田信孝	(判部長)	判事
------	-------	----

民事二部	判事	諸江田鶴雄
刑事部	"	岩村溜

長崎地方裁判所

第一民事部	(判所) 長事	(浦) 辺	(衛)
第二"	判事	梅津	長谷雄
第一刑事部	(判所) 長事	(浦) 辺	(衛)
第二"	判事	安仁屋	賢精

長崎地方裁判所佐世保支部

民事部	判事	大久保	敏雄
刑事部	(判支) 部長事	(小) 川	宜夫

大分地方裁判所

民事一部	(判所) 長事	(佐) 藤	秀
" 二部	判事	高石博良	良

刑 事 部

熊本地方裁判所

民事一部	(判所) 長事	(駒) 田	駿太郎
" 二部	判事	美山	和義
" 三部	"	斎藤	次郎
刑事一部	"	寺沢	政
" 二部	"	岩隈	照

鹿児島地方裁判所

民事部	判事	寺井	忠
刑事部	"	松本	敏男
民事刑事混合部	(判所) 長事	(飯) 守	重任

宮崎地方裁判所

民事第一部	判事	舟本	信光
-------	----	----	----

新 穂 豊

民事第二部
刑事部

(判所)
判事

(山)

庭

鷹之助
春夫

部の名称

官職

氏

名

仙台高等裁判所

第一民事部

第二"

第三"

第一刑事部

第二"

特別事件裁判所
分限事件裁判所

仙台地方裁判所

第一民事部

第二"

第三"

第一刑事部

第二"

判事 (判所) 判事

三 佐 谷 佐 杉

浦 藤 口 木 本

克 幸 茂 次 正

己 郎 榮 雄 雄

(長官) 判事 (長官) "

岸 田 松 山 細

上 中 本 田 野 上

康 晃 瑞 幸 康

(夫) 隆 平 夫 雄 夫

福島地方裁判所

第一民事部

第二 "

刑事部

山形地方裁判所

民事部

刑事部

盛岡地方裁判所

第一民事部

第二 "

刑事部

秋田地方裁判所

民事第一部

判事

(所判長事)

判事

(所判長事)

判事

(所判長事)

判事

判事

丹

金

阿

矢

有

石

和

佐藤

野

末

部

部

路

川

田

藤

喜

和

哲

太

不

良

保

繁

達

一

雄

孝

二

男

雄

保

第二部

刑事部

青森地方裁判所

民事部

第一刑事部

第二 "

(所判長事)

判事

判事

(所判長事)

判事

石

伊

大

古

井

井

沢

石

川

上

議

行

忠

生

清

彦

夫

実

清

札幌高等裁判所

第一 第二 第三 第四 特別
部 部 部 部 部

札幌地方裁判所

第一 第二 第三 第四 第五 第六
部 部 部 部 部 部

部
の
名
称

官
職

氏

名

(長 判 官)
" " " 官
(長 判 官)

(坂 武 中 原 坂)

(判 事)
" " 判 事
(判 事)

羽 松 海 川 渡 猪

石 野 部 上 部 瀬

嘉 安 正 保 慎

大 貞 昌 俊 夫 郎

速 一 英 速

(雄 一 孝 隆 雄)

藤 西 田

函館地方裁判所

第一
民事部
刑事部

(判
事長事
判事)

(江
新海
眞山)

美順
雄次
(一)

旭川地方裁判所

民事第一部

判事

志水

義文

〃 第二部

(判
事長事
判事)

(岩
本正
典雄)

彦

刑事部

判事

高木

典雄

釧路地方裁判所

民事部

(判
事長事
判事)

(杉
山昇
治)

孝

刑事部

判事

藤原

昇治

高松高等裁判所

部
の
名
称

官
職

氏

名

第一
部

判事

小川

盛行

第二
部

〃

橘田

茂男

第三
部

(長
官)

(長
谷川)

成二

第四
部

(長
官)

(長
谷川)

成二

特
別
部

(長
官)

(長
谷川)

成二

高松地方裁判所

民事第一部

(判
事長事
判事)

(位
野木)

益雄

〃 第二部

判事

村上

明雄

刑事部

判事

木原

繁季

徳島地方裁判所

民事第一部

(判
事長事
判事)

(東
畑)

郁夫

〃 第二部

判事

畑

微

刑
事
部

11

野間礼二

高知地方裁判所

民事第一部

（所判長事）

(津田正良)

刑 事 部

判
察

安	白
芸	石
保	晴
寿	祺

松山地方裁判所

刑
事
部

判事 所判長事

加	秋	吳
藤	山	屋
龍	正	愛
雄	雄	永

昭和四十六年一月

裁判官昇給候補者名簿

最高裁判所事務総局人事局

發
令
日

昇
給
号

所
屬
庁

官
名

氏

名

備

考

発令日

昇給号

所属庁

官名

氏

名

備考

発
令
日

昇給号

所
属
庁

官
名

氏

名

備

考

発令日

昇給号

所属庁

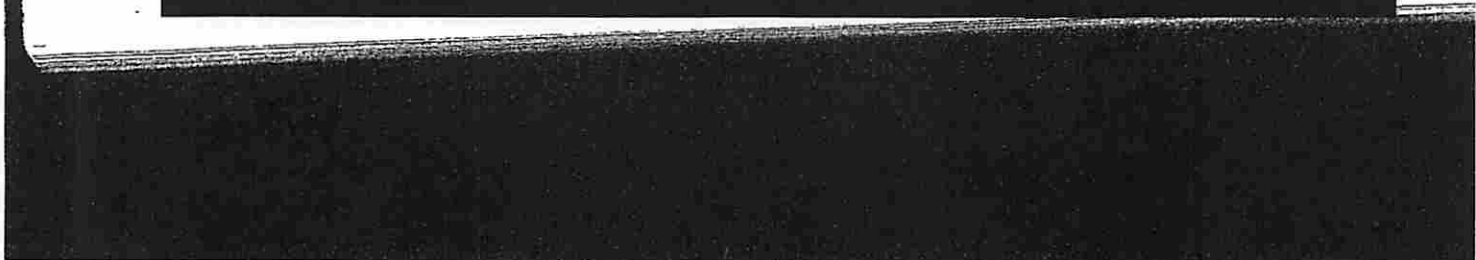
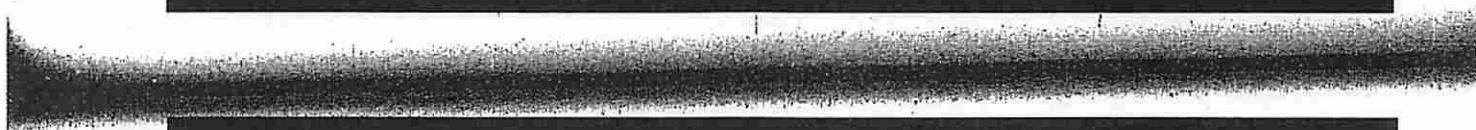
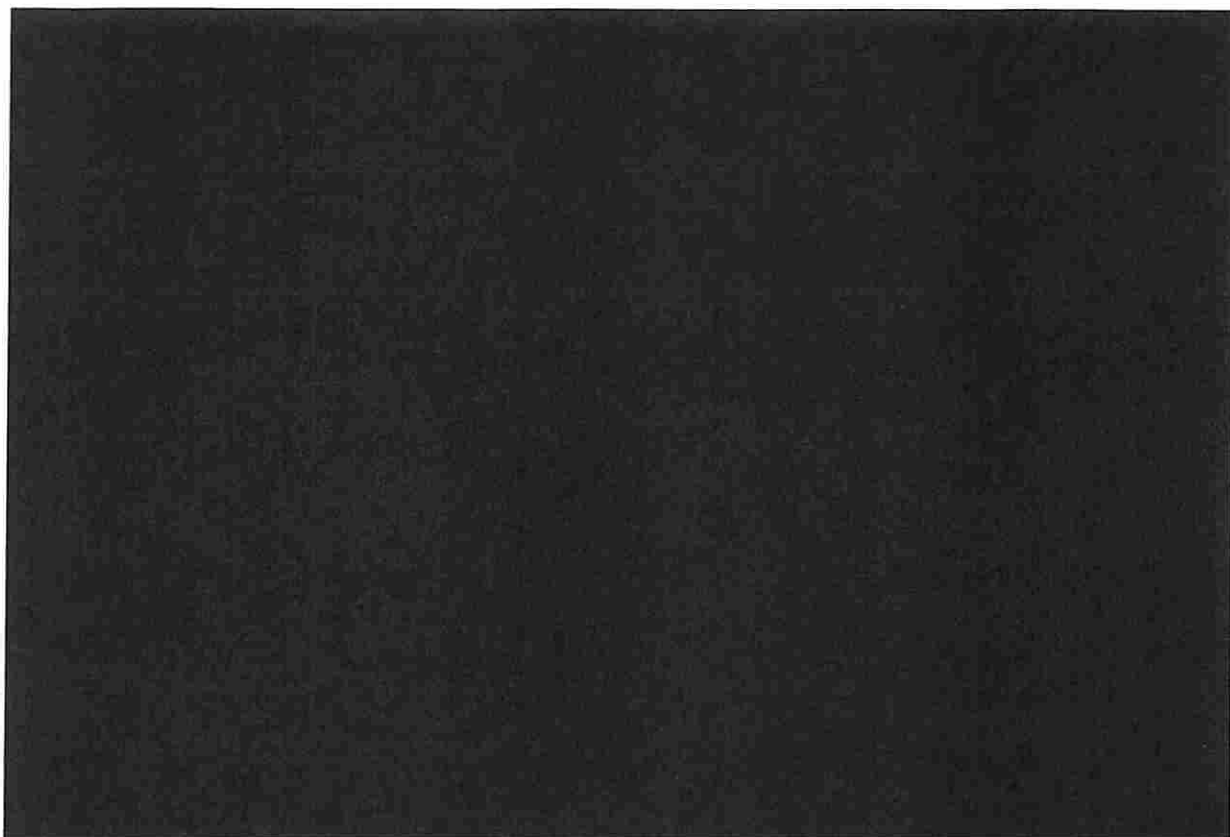
官名

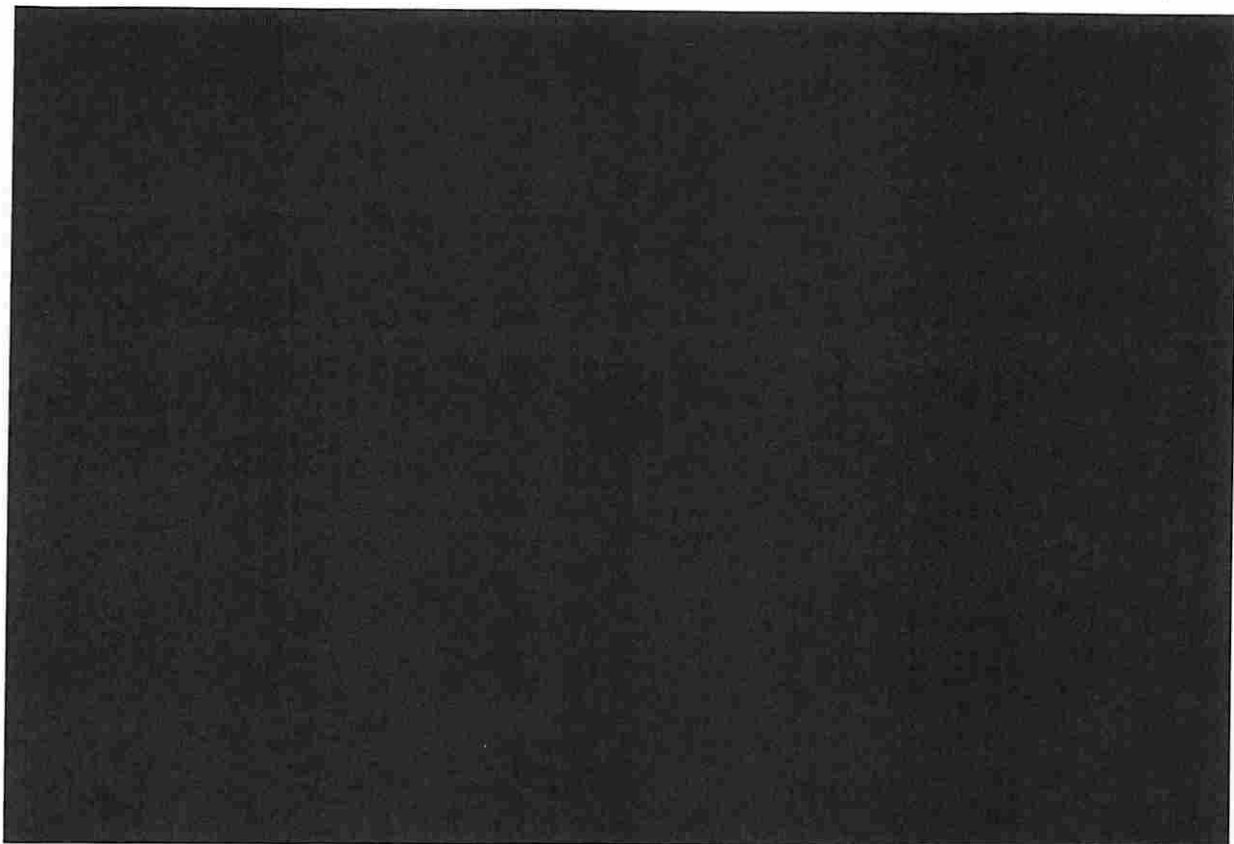
氏

名

一
備

考





発令日

昇給号

所属庁

官名氏

名

備

考

第 令 日

昇 給 号

所 属 庁

官 名

氏

名

職

考

発令日

昇給号

所属庁

官名

氏

名

備

考

発
令
日

昇
給
号

所
属
庁

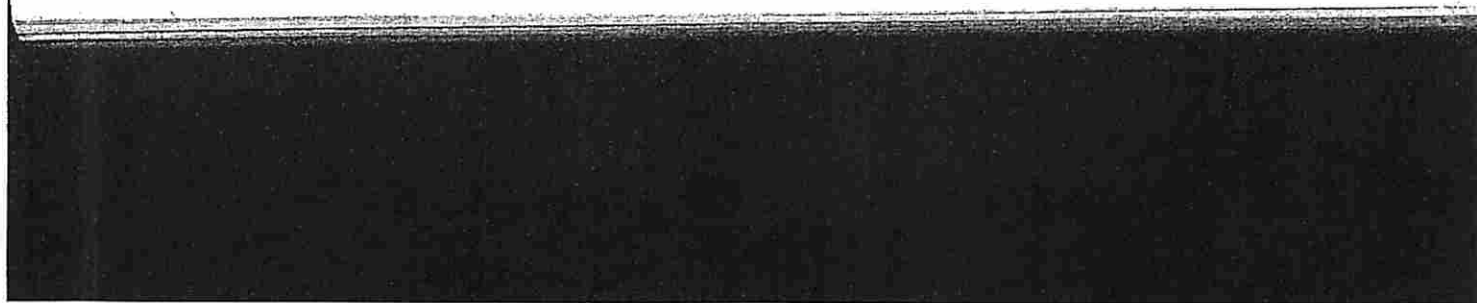
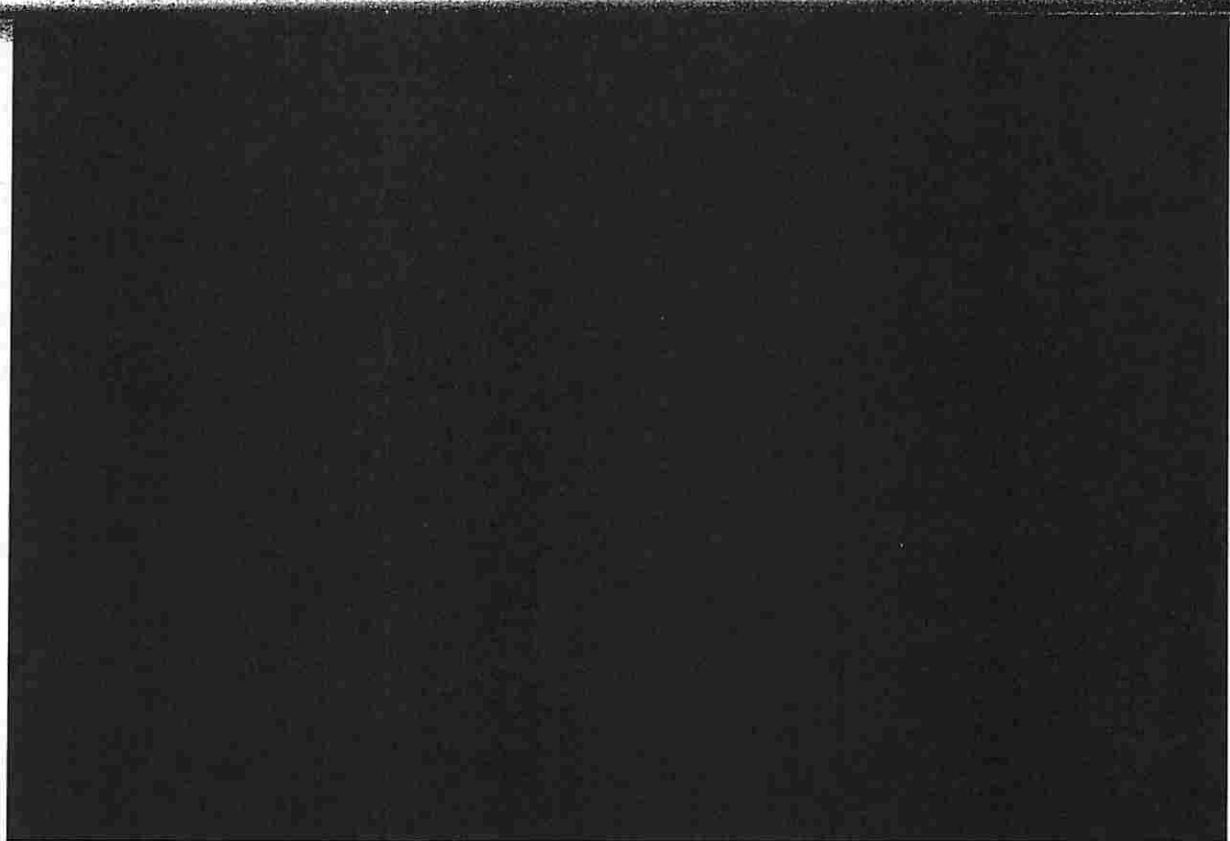
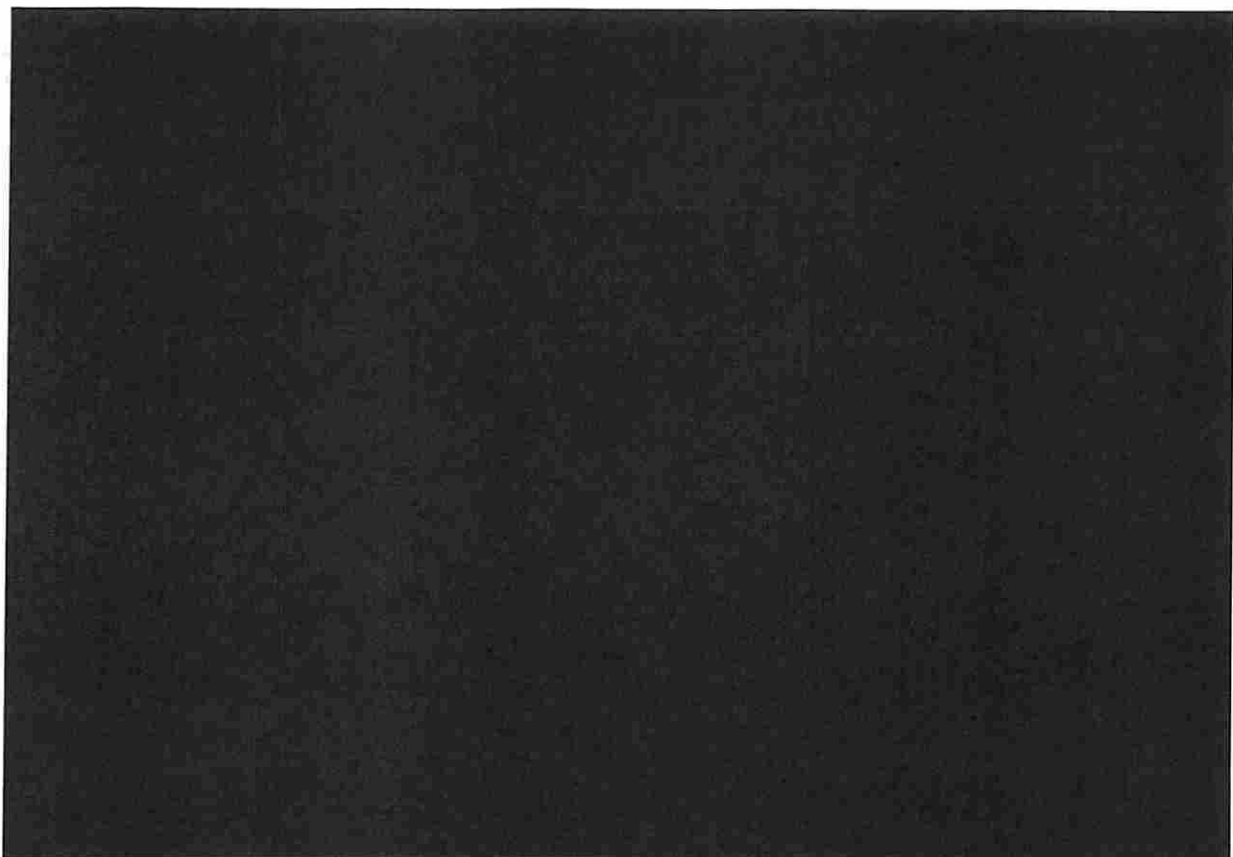
官
名

氏

名

備

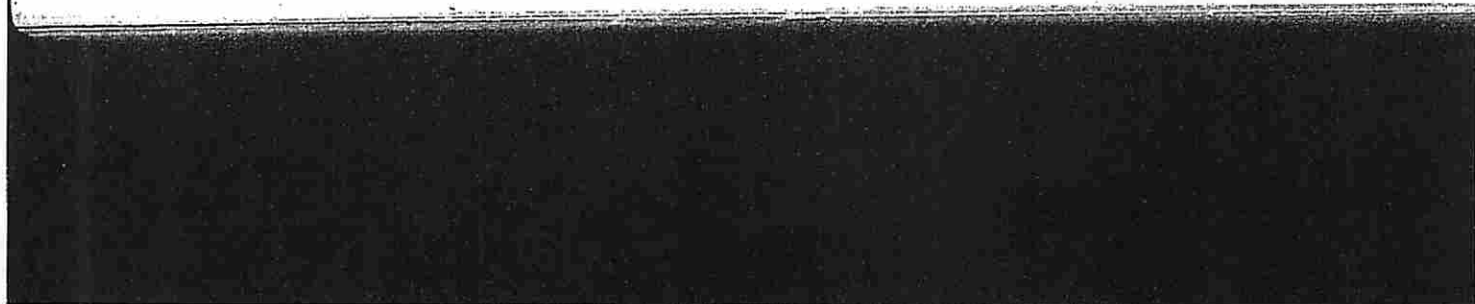
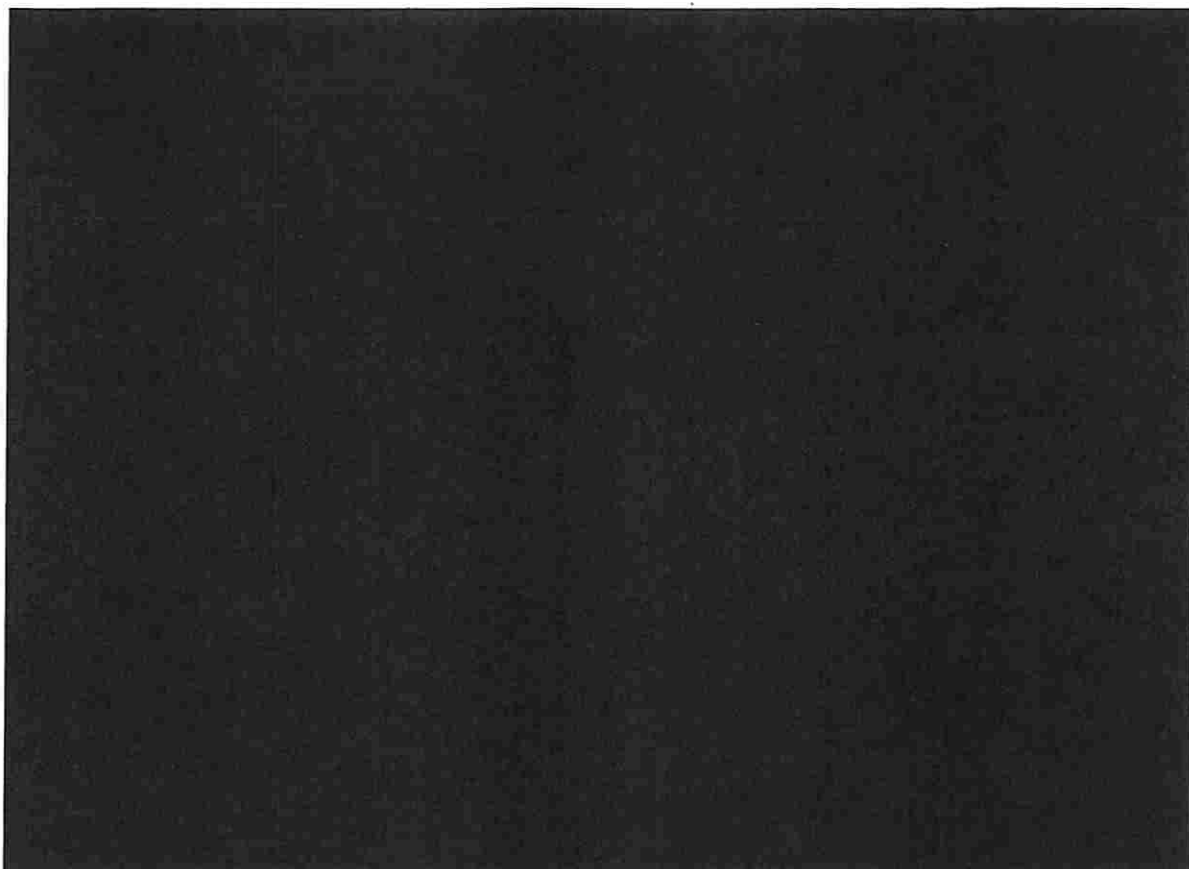
考

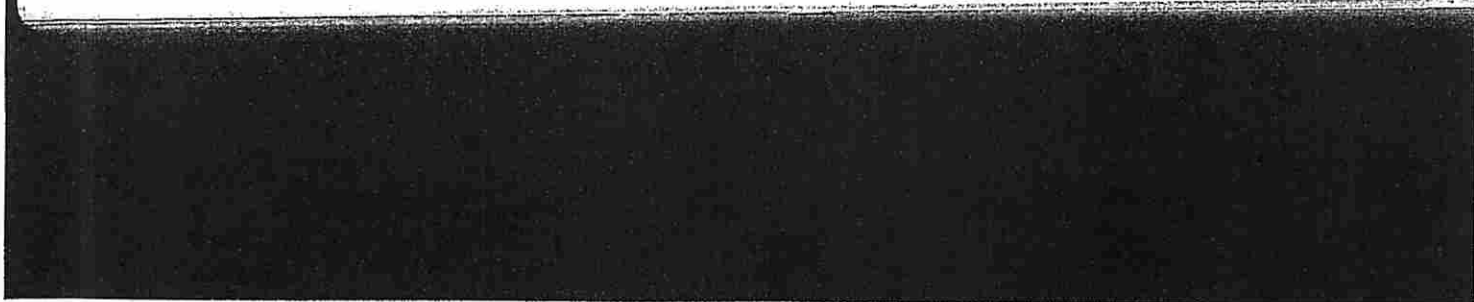
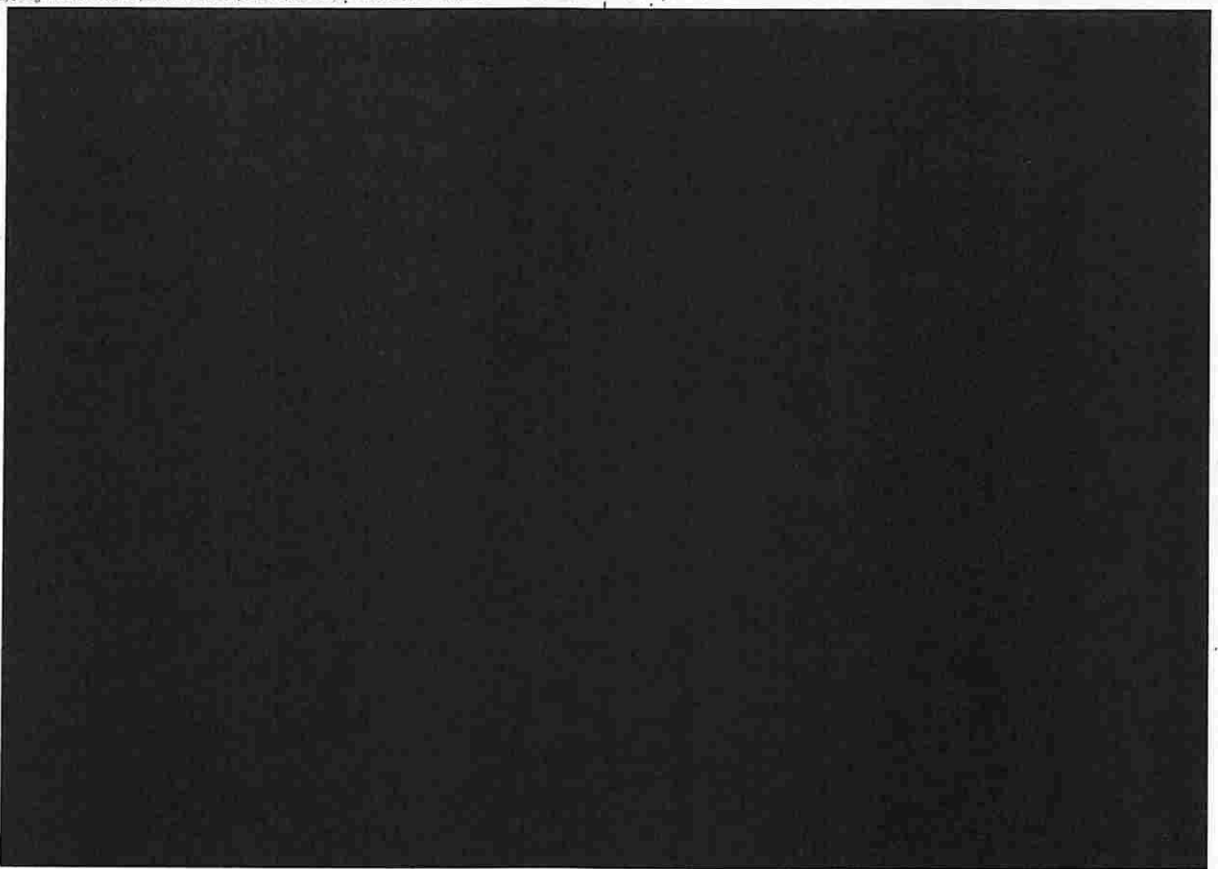
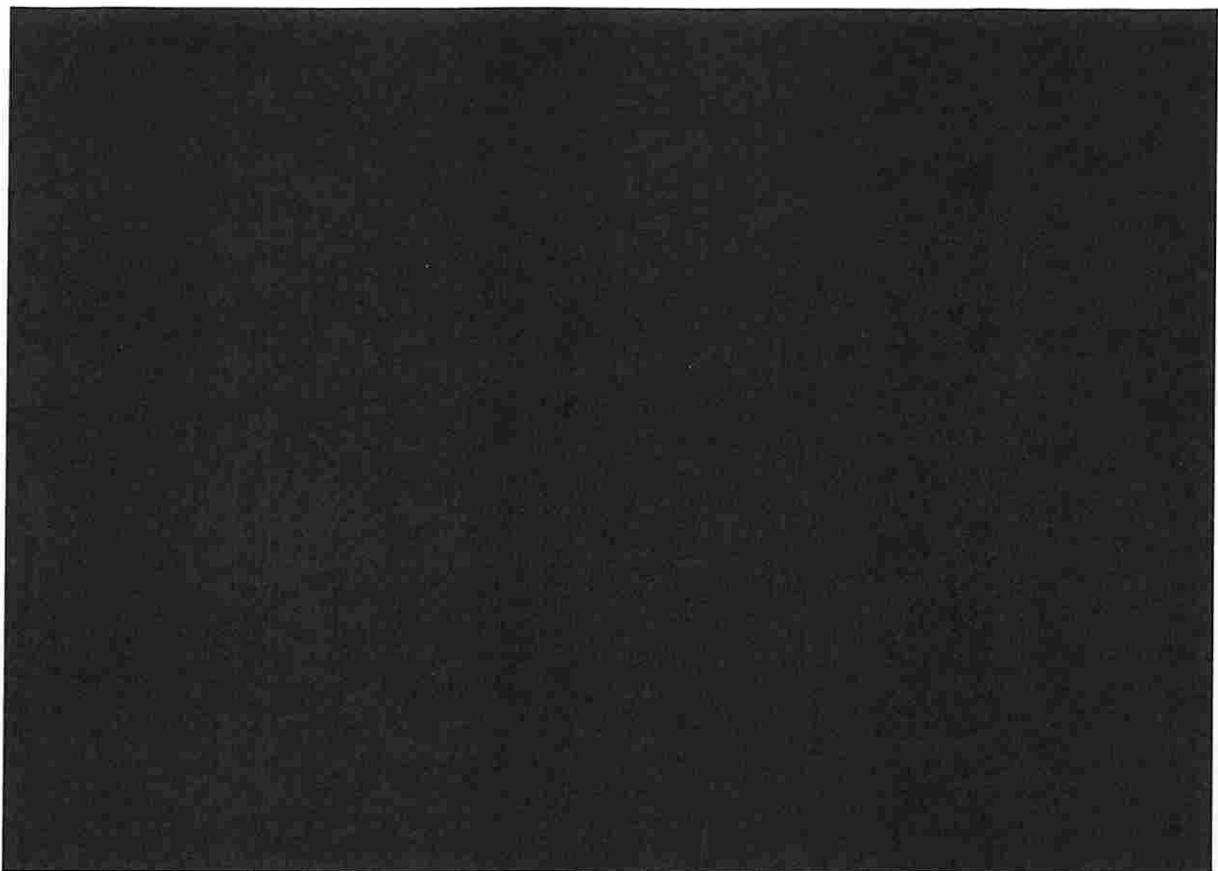


発令日
昇給号
所属庁
官名
氏名
備考

発
令
日
昇
給
号
所
属
庁
官
名
氏
名
備
考

發令日
昇給号
所屬庁
官名
氏名
備考





発令日

昇給号

所属庁

官名氏

名

備

考

免令日

昇給号

所属庁

官名

氏名

備考

発令日
昇給号
所属庁
官名
氏名
備考

発
令
日

昇
給
号

所
属
庁

官
名

氏

名

備

考

発令日

昇給号

所属庁

官名

氏

名

備考

考

発令日

昇給号

所属庁

官名

氏

名

備考

各種委員會委員等名簿

○ 最高裁判所刑事規則制定諮問委員會
免委員

城 戸 芳 彦

○ 最高裁判所一般規則制定諮問委員會
任命幹事 日弁連事務総長(弁護士)

谷 川 八 郎

○ 法制審議会民法部会

応囁委員 最高裁家庭局長(判事)
東京家裁所長(〃)

外 山 四 郎
市 川 四 郎

○ 法制審議会刑事法部会

推せん委員 東京地裁判事(判事)

木 梨 節 夫

○ 法制審議会刑事法特別部会

推せん委員 東京地裁判事(判事)

木梨 節夫

○ 昭和四十六年度司法試験第二次試験

推せん審査委員

東京高裁判事(判事)

杉山 克彦

東京地裁判事(判事)

小松 正富

最高裁判所第一課長(判事)

三好 達

東京地裁判事(判事)

井口 牧郎

東京高裁判事(判事)

瀬戸 正二

東京地裁判事(判事)

松永 信和

東京地裁判事(判事)

榊田 文郎

東京高裁判事(判事)

江里口 清雄

司法教官(判事)

吉沢 潤三

東京地裁判事(判事)

戸田 弘

東京地裁判事(判事)

坂井 芳雄

〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃
東京地裁判事(判事)
司法教官(判事)
東京地裁判事(判事)
東京地裁判事(判事)

萩原 直三
西村 宏一
相沢 正重
安倍 正三
渡部 吉隆

